



米国連邦通信委員会 (FCC) 緊急コールルーティング規制

- [緊急コールルーティング規制の概要 \(1 ページ\)](#)
- [緊急コールルーティング規制の設定 \(3 ページ\)](#)

緊急コールルーティング規制の概要

緊急コールルーティング規制は、緊急コール (911) が米国と米国以外のタイムゾーンでどのように設定され、ルーティングされるのかについて、米国 FCC の法律に準拠した情報を提供します。

米国 FCC は、公安を促し、緊急サービスに対する国全体のシームレスな通信インフラストラクチャの迅速な導入を可能にすることで、公安を容易にするための次の法律に署名しました。

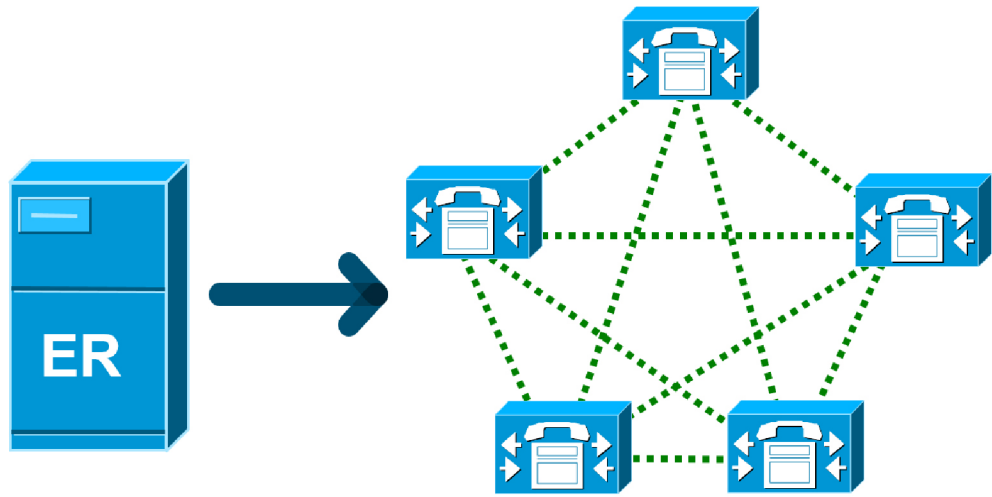
米国 FCC は、緊急通報 (911) ルーティングに関する以下の法律に署名しました。

- **カリ法:** この法律は、オフィスの建物、キャンパス、ホテルなどの設定でユーザにサービスを提供するマルチライン電話システム (MLTS) に適用されます。FCC では、プレフィックスをダイヤルせずに 911 を直接ダイヤルし、緊急コールが発信された場合にフロントまたはセキュリティオフィスに通知する必要があります。
- **レイバウム法第506条**に基づき、使用されている技術プラットフォームに関係なく、緊急電話で場所の詳細 (住所、建物番号、階数、部屋番号) を発信し、911 コールセンターが発信者の場所を自動的に受信して応答者をより迅速にディスパッチできるようにします。

FCC 関連の法律の詳細については、次を参照してください。 <https://www.fcc.gov/mlts-911-requirements>

緊急応答者は、テレフォニーネットワーク内のコールを効果的に管理して、すべての緊急コールに対応し、地域の法律に従って処理します。また、場所の詳細もディスパッチされ、通知は Unified Communications Manager にディスパッチされます。

次の図は、緊急応答者と Unified Communications Manager の間の接続を示しています。



444664

Emergency Responder

Unified Communications Manager

Cisco Emergency Responder の詳細については、[Cisco Emergency Responder Administration Guide](#) を参照してください。

MLTS としての Unified Communications Manager

Cisco Unified Communications Manager の管理ページは、米国のタイムゾーンにインストールされているシステムに対するダイレクト 911 ダイアルパターンの欠如を検出するインビルドソフトウェアを備えた MLTS です。

911 ルートパターンが有効になっていない場合、Cisco Unified CM Administration のホームページにアラートメッセージが表示されます (このシステムでは直通ダイアル 911 パターンは設定されていません)。連邦通信委員会のルールでは、米国のほとんどのマルチライン電話システムには、直通ダイアル 911 パターンが適用されます。



445284

FCC の法律が適用されない米国以外のタイムゾーンにシステムがインストールされている場合は、Unified Communications Manager の [緊急コールルーティング規制] 設定ページが無効になります。



(注) FCC の法律の適用性について、法律顧問に相談してシステムで承認する必要があります。

緊急コールルーティング規制の設定

法規制に準拠して直通ダイヤル 911 ルートパターンを確認および設定するように、Unified Communications Manager で緊急コールルーティング規制が設定されています。

始める前に

FCC 法律を受け入れて設定した後、今後のために必ずバックアップを実行してください。

ステップ 1 [緊急コールルーティング規制] ウィンドウにアクセスするには、次のいずれかを実行します。

- [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。 **詳細機能 > 緊急コールルーティング規制**
- アラート通知で利用可能なリンクをクリックして、ホームページの 911 ルートパターンを設定します。

ステップ 2 [上記の通知を読み、特定の義務を決定するために弁護士に相談しました] チェックボックスをオンにして通知を確認します。

ステップ 3 [911 の設定ページに接続する] チェックボックスをオンにして **[送信]** をクリックして、FCC の法律が適用される場合、直接 911 通知を設定します。 **[ルートパターンの設定]** ウィンドウに移動します。デフォルトでは、 **[パターン定義]** セクションで 911 パターンが設定されます。

ステップ 4 設定したパターンに応じて、 **[ゲートウェイ/ルートリスト]** ドロップダウンリストから、適切なゲートウェイ、ルート、またはトランクを選択します。その他フィールドと設定オプションの詳細については、オンラインヘルプを参照してください。

ステップ 5 [保存] をクリックします。

(注) システムが米国のタイムゾーンに設置されていて、FCC 法律が適切でない場合は、 **[緊急コールルーティング規制]** ウィンドウの **[911 の義務に関するその他の通知を無効にする]** のチェックボックスをオンにして、 **[送信]** をクリックして 911 通知を無効にします。

法律が適用されない場合、管理者は、今後のアップグレードと 911 ルートパターンの新しいインストールについての通知を免除します。

設定が今後のアップグレードで維持されます。アラート通知はホームページから消え、 **[緊急コールルーティング規制]** ウィンドウは無効になります。

システムがアップグレード中にすでに 911 ルートパターンを作成している場合、またはタイムゾーンが米国以外のタイムゾーンから米国のタイムゾーンに変更された場合、確認ページはグレー表示されます。

